

## 平成22年9月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成22年5月14日

上場取引所 JQ

上場会社名 太洋物産株式会社

コード番号 9941 URL <http://www.taivo-bussan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柏原 弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部ジェネラルマネージャー (氏名) 宮内 敏雄

TEL 03-5402-8181

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年9月期第2四半期の業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	20,212	△31.3	△82	—	△167	—	△515	—
21年9月期第2四半期	29,456	△17.7	△1,774	—	△1,911	—	△1,796	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	△61.43	—
21年9月期第2四半期	△214.18	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年9月期第2四半期	16,113	—	2,037	—	12.6	243.01
21年9月期	15,411	—	2,315	—	15.0	276.08

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 2,037百万円 21年9月期 2,315百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年9月期	—	0.00	—	—	—
22年9月期(予想)	—	—	—	6.50	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年9月期の業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,800	△16.0	322	—	142	—	△160	—	△19.07

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第2四半期	8,388,197株	21年9月期	8,388,197株
② 期末自己株式数	22年9月期第2四半期	2,142株	21年9月期	2,142株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年9月期第2四半期	8,386,055株	21年9月期第2四半期	8,386,055株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

第70期第2四半期会計期間の我が国の経済は、第1四半期会計期間に引き続き、中国を筆頭とした新興国の経済成長と旺盛な需要が牽引役となり、持続した輸出が見込まれ、緩やかな景気回復が見込まれる状況になりましたが、力強さに欠け、本格的な消費回復には、まだ時間を要するものと思われます。

このような環境下、当社におきましては、「量から質へ」の事業転換を標榜し「利益率・資金効率」を重視する経営への努力が、徐々に効果を現してまいりました。畜産物及び加工食品におきましても「質」を追求した戦略で、より利益率が向上する体制整備を進めるとともに、活況を呈する中国市場での商機を獲得ができる体制の構築を目指しております。

経済環境が劇的な変化を見せ続ける状況であることから、相場変動に影響されない本物指向の差別化戦略により、利益率と資金効率を重視した「量から質へ」事業転換を図り、消費者（生活者）目線の商品開発や新規開拓で、当社独自の価値提供を目指してまいります。

この結果、当第2四半期会計期間の売上高は105億53百万円（前年同四半期比16.8%減）となり、営業損失は1億3百万円（前年同四半期は四半期営業損失15億14百万円）、経常損失は1億58百万円（前年同四半期は四半期経常損失15億78百万円）、四半期純損失は、当社の主力取引先である大豆油糧株式会社が民事再生手続開始の申立を行ったことにともない、保有する売掛債権（9億34百万円）のうち、回収不能見込額3億43百万円を特別損失として計上したため、4億82百万円（前年同四半期は四半期純損失15億97百万円）となりました。

これらを踏まえ、引き続き、消費者（生活者）目線の商品開発や新規開拓による本物指向の差別化戦略により、当社独自の価値提供を目指してまいります。

#### （農産部）

主力の大豆（Non-GMO大豆）におきましては、当会計期間において前事業年度の影響は徐々に薄れて参りましたが、国内での需要回復の糸口が依然見えないことから、取扱数量・売上高とも低迷いたしました。菜種につきましては、国内需要の回復傾向とともに加工メーカー側の生産回復基調を受け、取扱数量・売上高とも前年同期に比べ減少したものの、堅実な商売を行うことができました。

この結果、当第2四半期会計期間での売上高は30億27百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。

#### （食料部）

牛肉におきましては、当会計期間は不需要期に当たり、取扱数量・売上高とも低迷いたしました。鶏肉につきましても同様な動きとなり、取扱数量・売上高とも減少を余儀なくされましたが、商品の差別化等に意欲的に取り組み、価格上昇等の要因もあり商機を得ることができました。その他、特定顧客向けの調整加工品につきましては、購入意欲の減少から価格の低迷が続き、取扱数量・売上高とも、若干計画を下回る推移となりました。

この結果、当第2四半期会計期間での売上高は51億42百万円（前年同四半期比31.3%減）となりました。

#### （生活産業部）

玄蕎麦におきましては、取引先との関係を活かし、又、新たな販路を見つける努力も実を結び、取扱数量・売上高とも横ばいではありましたが、順調に商売ができました。鉄鋼関係につきましては、需要の先行き不透明感から価格競争の厳しさが増し、取扱数量・売上高とも減少いたしました。

繊維関係につきましては、生産地を中国に集め、消費動向に柔軟に対応ができる体制の構築を進めておりますが、当会計期間におきましては、取扱数量・売上高とも横バイの推移となりました。加工食品につきましては、新規の販売先開拓とともに、新規商品の提案など、積極的な営業努力を継続して行ってまいりましたことから、取扱数量・売上高とも好調に推移しました。

この結果、当第2四半期会計期間での売上高は11億80百万円（前年同四半期比15.7%減）となりました。

(営業開拓チーム)

中国向けが殆どを占める産業用機材・車輛及び部品におきまして、中国国内での新幹線鉄道建設などの基盤整備が、依然、活発に投資されており、取扱数量・売上高とも順調に推移しました。インド向け建設機械の販売につきましては、インド経済も上向きはじめたことから、取扱数量・売上高を得ることができました。半導体3D検査機につきましては、半導体市況の上昇から、メーカーの設備投資の意欲も強まり、その検査機である商品にも動きがでてきております。化学品につきましては、インド向け販路の開拓が進み、取扱数量は減少したものの、製品価格の上昇から売上高は増加いたしました。

なお、昨年4月1日に、生活産業部取り扱いの産業用機材・車輛を営業開拓チームの取り扱いとしたため、当第2四半期会計期間での売上高は12億3百万円（前年同四半期比 20.9%増）となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における「資産合計」は、たな卸資産の増加等により第1四半期末に比べ4億5百万円増加し、160億23百万円となりました。

また、「負債合計」は、現在の金融情勢を鑑み、手元流動性を高めることを目的として短期の借入等の対応を行ったことにより第1四半期末に比べ6億67百万円増加し、139億85百万円となりました。「純資産合計」は、第1四半期末に比べ2億61百万円減少し、20億37百万円となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は第1四半期末に比べ、1億15百万円増加し、12億47百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュフロー)

営業活動の結果使用した資金は、8億61百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加が10億27百万円となったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュフロー)

投資活動の結果使用した資金は、6百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュフロー)

財務活動の結果得られた資金は、9億83百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増加による収入(11億円)によるものです。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

現時点での業績予想につきましては、平成22年5月13日(木)に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりであります。

## 4. その他

### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,247,598	696,152
受取手形及び売掛金	4,252,882	5,499,730
有価証券	49,961	49,910
商品及び製品	7,500,023	6,003,086
その他	316,834	1,002,756
貸倒引当金	△8,930	△38,608
流動資産合計	13,358,369	13,213,027
固定資産		
有形固定資産	353,989	356,257
無形固定資産	4,821	5,316
投資その他の資産	2,396,421	1,836,824
固定資産合計	2,755,232	2,198,399
資産合計	16,113,602	15,411,427
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,663,014	2,029,793
短期借入金	6,900,000	5,000,000
未払費用	1,174,571	1,036,611
デリバティブ債務	265,511	584,649
その他	569,241	594,132
流動負債合計	10,572,339	9,245,186
固定負債		
社債	325,000	350,000
長期借入金	3,000,000	3,370,000
退職給付引当金	68,975	66,560
その他	109,354	63,820
固定負債合計	3,503,330	3,850,381
負債合計	14,075,669	13,095,567

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,149,859	1,149,859
資本剰余金	1,111,800	1,111,800
利益剰余金	△99,063	416,117
自己株式	△455	△455
株主資本合計	2,162,140	2,677,321
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,687	7,230
繰延ヘッジ損益	△128,895	△368,693
評価・換算差額等合計	△124,208	△361,462
純資産合計	2,037,932	2,315,859
負債純資産合計	16,113,602	15,411,427

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
売上高	29,456,889	20,212,370
売上原価	30,531,430	19,727,083
売上総利益又は売上総損失(△)	△1,074,541	485,286
販売費及び一般管理費	700,168	567,982
営業損失(△)	△1,774,710	△82,695
営業外収益		
受取利息	554	253
受取配当金	1,281	1,953
その他	7,026	27,529
営業外収益合計	8,862	29,735
営業外費用		
支払利息	90,603	68,147
その他	54,835	46,313
営業外費用合計	145,439	114,461
経常損失(△)	△1,911,287	△167,421
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	42,610
特別利益合計	—	42,610
特別損失		
投資有価証券評価損	27,024	—
貸倒引当金繰入額	—	343,000
特別損失合計	27,024	343,000
税引前四半期純損失(△)	△1,938,311	△467,811
法人税、住民税及び事業税	2,095	2,095
法人税等調整額	△144,266	45,274
法人税等合計	△142,171	47,369
四半期純損失(△)	△1,796,139	△515,181

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	12,685,097	10,553,754
売上原価	13,838,057	10,374,715
売上総利益又は売上総損失(△)	△1,152,959	179,038
販売費及び一般管理費	361,624	282,646
営業損失(△)	△1,514,584	△103,607
営業外収益		
受取利息	429	121
その他	4,741	8,413
営業外収益合計	5,170	8,534
営業外費用		
支払利息	40,014	34,837
その他	28,730	28,809
営業外費用合計	68,745	63,646
経常損失(△)	△1,578,159	△158,719
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	15,012
特別利益合計	—	15,012
特別損失		
投資有価証券評価損	15,729	—
貸倒引当金繰入額	—	343,000
特別損失合計	15,729	343,000
税引前四半期純損失(△)	△1,593,888	△486,707
法人税、住民税及び事業税	1,047	1,047
法人税等調整額	2,555	△5,274
法人税等合計	3,603	△4,227
四半期純損失(△)	△1,597,491	△482,480



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△1,938,311	△467,811
減価償却費	11,187	9,895
貸倒引当金の増減額(△は減少)	26,575	300,389
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,119	2,415
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,369	—
受取利息及び受取配当金	△1,835	△2,206
支払利息	90,603	68,147
為替差損益(△は益)	575	330
投資有価証券評価損益(△は益)	27,024	—
売上債権の増減額(△は増加)	3,066,229	1,246,848
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,476,041	△1,496,936
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,147,105	△366,779
未収消費税等の増減額(△は増加)	△546,184	519,706
未払費用の増減額(△は減少)	△989,118	138,471
差入保証金の増減額(△は増加)	59,924	△10,116
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	△934,045
その他	△93,174	91,519
小計	2,053,920	△900,169
利息及び配当金の受取額	1,114	2,155
利息の支払額	△90,510	△69,391
法人税等の支払額	△118,982	△2,722
法人税等の還付額	—	90,497
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,845,541	△879,631
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,180	△7,132
投資有価証券の取得による支出	△98,740	△295
子会社株式の取得による支出	△96,550	—
投資事業組合からの分配による収入	3,200	6,500
その他	△10,639	△9,675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204,909	△10,602
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,400,000	1,900,000
長期借入金の返済による支出	△66,000	△366,000
配当金の支払額	△54,509	—
社債の償還による支出	△25,000	△25,000
その他	—	△66,990
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,545,509	1,442,010
現金及び現金同等物に係る換算差額	△575	△330
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△905,452	551,445
現金及び現金同等物の期首残高	1,177,206	696,152
現金及び現金同等物の四半期末残高	271,754	1,247,598

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

該当事項はありません。